

第3学年2組 国語科学習指導案

日時：平成30年11月30日（金）

場所：浜田市立国府小学校 3年2組教室

授業者：教諭 大室 俊一

- 1 単元名 「働く犬リーフレット」を作って家の人に紹介しよう
- 2 教材名 共通学習材・・・「もうどう犬の訓練」 東京書籍3年下
「調べよう！はたらく犬たち」シリーズ ポプラ社 他
- 3 学級 国府小学校 3年2組 男子14名 女子12名 計26名
- 4 単元づくりの構想

本単元で付けたい力

大事な言葉や文を見つけながら読み、書かれている内容を要約する力

言語活動とその特徴

本単元では、働く犬について調べたことをリーフレットにまとめてお家の人に紹介する活動を設定する。リーフレットを作成することは、限られた紙面の中で、伝えたい内容をどのようにまとめるかを考え、大事な言葉や文を見つけて要約する力が必要となる。本活動は、指導事項C読む(1)ウ「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」を指導するのにふさわしい言語活動であると考え。児童にとって要約の学習は初めてであり、どのようにまとめるのか戸惑うことも予想される。共通学習材と自分で選んだ図書を交互に読み進め、習得と活用を行き来しながらリーフレットを作るように学習展開を設定することで、要約の力を身に付けていくことができると考える。

教材の特質

本共通学習材は、盲導犬の訓練について、盲導犬の定義や役割、訓練の段階を、順序立てて説明した文章である。段落のまとまりがはっきりしており、「はじめ（盲導犬についての説明）・なか（盲導犬の訓練）・おわり（筆者の考えのまとめ）」の文章全体の構造がつかみやすくなっている。また、「盲導犬はどんな犬か」「どんな訓練をするのか」などの内容に即して説明しているため、大事な言葉や文を見つけやすく、段落ごとの内容がとらえやすい。要約を初めて学習する児童に適した教材文といえる。また、犬という動物は児童にとって身近で親しみやすい生き物である一方、盲導犬が人間のために働く犬になる過程については知らないことが多く、興味関心を高めながら読むことができると考える。

本単元に関わる子どもの実態

<個人情報保護のため省略>

5 説明的な文章における付けたい力の系統性（情報活用）

（思考力、判断力、表現力等）C 読むこと

1年
書かれていることを事柄ごとに正しく読み取り、ほかの本を読んで調べたことをまとめる。
「いろいろなふね」

2年
重要な語や文を考えながら文章を読み、ほかの本などを読んで調べたことをまとめる。
「ビーバーの大工事」

本単元
3年
目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。
「もうどう犬の訓練」

4年
何をどのように比べているかを読み取り、目的を意識して、引用したり要約したりする。
「くらしの中の和と洋」

5年
目的に応じて、いろいろな本や資料などから要旨、筆者の説明の工夫や資料の使い方などを読み取る。
「和の文化を受けつぐ～和菓子をさぐる」

6年
目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりして情報を活用する。
「町の幸福論
～コミュニティデザインを考える～」

第1学年及び第2学年
ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

第3学年及び第4学年
ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。
ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

第5学年及び第6学年
ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを広げること。

中学校 第1学年
ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。
ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。
エ 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

6 研究の重点とのかかわり

(1) 視点1 言葉に向き合い、主体的・対話的に学ぶ授業づくり

① 「要約ナビ」の活用

本単元において、児童は初めて要約について学習する。そのため、要約が難しいと感じる児童が多くいると考えられる。そこで、要約のやり方や手順を示した「要約ナビ」を活用する。これは、授業で学んだ要約の方法を書き込んでいき、これを見れば要約とは具体的にどうしていくことなのかということが分かる手引きである。要約のやり方が分からないときや困ったときなどに、「要約ナビ」に立ち返り、児童が自分自身の力で要約の活動に取り組むことができるようにする。また、要約に必要な過程（見つける、つけたす・つなぐ、けずる、書きかえる）を「忍法〇〇のじゅつ」というように示し、児童の要約への関心、意欲を高められるように工夫する。それぞれの術が1つでもできたら、それを認め、要約学習の初歩として楽しく習得できるように留意したい。

② 学習した要約の方法をすぐに活用できるような単元設計

本学級の児童の読み取りの力は個人差が大きい。要約をする学習過程を細かく分けて、一つ一つの過程を丁寧に指導することにより、活用の場面で児童一人一人が自信をもって取り組めるようになるのではないかと考える。そこで、単元の最後にリーフレットを一度に作り上げるのではなく、共通教材で作成過程を学習するごとにリーフレットを作っていく単元設計とすることとした。このような単元設計を取り入れることで、習得したことをすぐに活用へと結び付けることができると考える。また、元の文を正確に読み取ることや、内容を大まかに捉えることなどを短い時間の中で日常的に取り入れていくことで、要約する上での下支えとなる学習活動を充実させたい。

③ 対話的な学びの過程を取り入れた授業

要約する際に重要なことは、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けること」である。本単元において中心となる語や文を選ぶ際の拠り所としては、「盲導犬はどんな犬か」「どんな訓練をするのか」などの問いの答えとなるものであることを押さえる。

この問いに合う答えを要約する段階で、グループ交流の時間を設定する。この交流には2つの視点があり、1つ目が点検である。グループの友達に要約文を読んでもらい、問いと答えが一致しているかを確認する。2つ目がアドバイスである。点検後、補った方がよい言葉や削る言葉はないかということを見ていく。また、困っている友達に対しては「ここはこの術を使ってみたらどう？」というようなアドバイスをする。相手に伝えることで、要約のやり方についてさらに理解を深めることができると考える。

(2) 視点2 言葉の力を積み重ね、学ぶ集団づくり

① 説明文を読み取るための方法や言葉集め

年間を通して、説明文の内容を読み取るための手立てや語彙を授業の中で取り上げ、教室の掲示に書きためていく。本単元では、説明文の内容を読み取るための手立てとして、要約を扱う。まず、問いを立てて、その問いの答えとなる大事な言葉や文に注目するという視点をもつことで深く内容を読み取ることができるものとする。また、取り上げたい語彙としては、「しかし」、「たとえば」、「さらに」といった接続語に焦点を当てたい。これらは、段落の内容を捉える上での大きな手がかりになるものとして書きためられるようにしたい。

(3) 視点3 言葉の力を育てる環境づくり

① 図書館活用の推進

子どもの「知りたい」という思いを重視し主体的に課題解決していくために、好きな作品を見つけて読む、目的に応じて本や文章を探して読むといったことが可能となるような環境作りをする。具体的に

は、「働く犬」に関わる資料を学校司書に集めてもらいワークスペースに並行読書で読める図書コーナーとして「はたらく犬コーナー」として設け、日常的に資料を手にするができる環境を整える。並行読書を進めながらおもしろいと思ったページに名前を書いた付箋を貼ることとして、友達がどんなところをおもしろいと感じたのかを交流できるようにしたい。

7 単元の指導目標

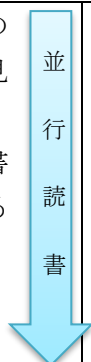
- ◎ リーフレットを作ることに向けて、目的に応じて文章の中心となる語や文を見付け、内容を要約することができる。 【思考力, 判断力, 表現力等 C 読むこと 精査・解釈 ウ】
- 指示語や接続語の役割を理解して、文章を読むことができる。 【知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 ○文や文章 カ】
- 働く犬について関心を持ち、進んで資料を読んでリーフレットを作るために必要な情報を見つけようとしている。 【学びに向かう力, 人間性等】

8 単元の評価規準

| 知識及び技能 【文や文章 カ】 | 思考力, 判断力, 表現力等 【C読むこと 精査・解釈 ウ】 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ・接続語や指示語の役割, 問いと答えといった段落の役割を理解して, 共通学習材を読んでいる。 | ・リーフレットを作ることに向けて, 目的に応じて文章の中心となる語や文を見付け, 内容を要約している。 | ・「働く犬リーフレット」を作るために, 立てた問いについて書かれた図書を, 関心をもって読もうとしている。 |

9 単元の指導計画 (全11時間扱い)

| 次 | 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 ◇評価規準 (評価方法) |
|---------|---|---|--|
| 事前 | | ○ 学校図書館, 中央図書館を活用してワークスペースに「働く犬コーナー」をつくり, 関心を高めておく。 | |
| 第一 次 | 1 | ・「働く犬リーフレット」を作ってお家の人に紹介しようという言語活動の見通しを持つ。 ・学習の計画を立て, リーフレットに書いて紹介したい働く犬が書いてある本を選ぶ。 | ・教師が作成したリーフレットを提示し, リーフレットのイメージをもてるようにする。 ◇これからの活動の見通しをもち, 必要な情報を見つけるために本を選ぼうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (本を選ぶ姿) |



| | | | | |
|-----|---|---|------------------|--|
| 第二次 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> 共通学習材を読んで説明文の家の3つの部屋に分け、文章の全体をとらえる。 | 並 行 読 書 | <ul style="list-style-type: none"> 接続語に注目することで、内容のまとまりを意識できるようになることを確認する。 ◇指示語や接続語の役割を理解し、共通学習材を「始め・中・終わり」のまとまりに分けている。 【知識及び技能 言葉の特徴や使い方に関する事項】 (全文シート) |
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 「要約ナビ」の「見つけるのじゅつ」のやり方を確認する。共通学習材の内容についての問いを立て、それに対する大事な言葉や文を書き出す。 →指導と演習 | | <ul style="list-style-type: none"> 問いかけに対する答えの部分が大事な文であるということを確認する。 ◇問いと答えの関係に着目しながら、大事な文を見付けることができている。 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (ワークシート) |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 「要約ナビ」の「つけたし・つなぐ、けずる、書きかえのじゅつ」のやり方を確認する。 →指導 共通学習材から「もうどう犬はどんな犬か」①～③について要約する。 →演習 | | <ul style="list-style-type: none"> 余白を利用して、書いた文章を消さずに推敲する書き方を確認する。 ◇共通学習材から「もうどう犬はどんな犬か」について要約している。 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (ワークシート) |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の紹介したい働く犬について、「〇〇犬はどんな犬か」の問いから大事な言葉や文を書き出す。 →活用 | | <ul style="list-style-type: none"> 共通学習材で学習した手順を掲示で想起しながら、大事な言葉や文を書き出す。 ◇問いと答えの関係に着目しながら、大事な言葉や文を見付けることができている。 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (リーフレット) |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の紹介したい働く犬について、どんな犬かを紹介する要約文を書く。 →活用 | | <ul style="list-style-type: none"> 共通学習材で学習した手順を掲示で想起しながら、要約文を書いていく。 ◇自分で選んだ本から、「〇〇犬はどんな犬か」について要約することができている。 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (リーフレット) |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> 共通学習材から「さいしょの訓練では、どんなことをするのでしょう。」の問いについての説明を、④～⑧の中から要約する。 →演習 | | <ul style="list-style-type: none"> お家の人に伝えるという目的を確認して、分かりやすく書こうという意欲を高める。 ◇共通学習材から、最初の訓練ですることについて、問いと答えの整合を確認しながら要約することができている。 |

| | | | |
|-------------|-------------|--|--|
| | | | 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (ワークシート) |
| | 8 | ・自分の紹介したい働く犬について、問いを立て、それに対する大事な言葉や文を書き出す。 →活用 | ・友達同士で対話をする時間を多くとり、要約の手順を全体で確認しながら進めていく。 ◇問いと答えの関係に着目しながら、大事な文を見付けることができる。 |
| | 9 本 時 | ・自分の紹介したい働く犬について、立てた問いの答えとなる説明を要約して書く。 →活用 | 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (リーフレット) ・同じ犬を選んだ友達と対話を取り入れ、互いにアドバイスをしながら学習を進めていく。 ◇自分で立てた問いの答えにあたる文や言葉を読み取り、問いと答えの整合を確認しながら要約することができる。 |
| | 10 | ・リーフレットのまとめとして、感想を書き、全体の清書や表紙、使った本について書いて仕上げる。 | 【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (リーフレット) ◇自分で選んだ働く犬について、リーフレット全体の構成や問いと答えの整合などを選んだ本を見て確認しながら、まとめや清書を書こうとしている。 |
| | | | 【主体的に学習に取り組む態度】 (リーフレット) |
| 第 三 次 | 11 | ・グループごとにお互いのリーフレットを読み合い、友達のよいところや自分の作品に生かしたいところ等を伝え合う。 | ・要約文が書けるようになったことを互いに認め合いながら学習のまとめとなるようにしたい。 ◇友達の作品のよいところや、自分の作品に生かしたいところなどを積極的に友達に伝えている。 |
| | | | 【主体的に学習に取り組む態度】 (ふりかえりシート) |
| 事後 | | ○家に持ち帰り、お家の人に紹介し、コメントを書いてもらう。 | |

並
行
読
書

10 本時の指導（9／11時間目）

（1） 本時のねらい

自分で選んだ働く犬について、立てた問いに対する答えを説明する文章を要約して書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等 C 読むこと 精査・解釈 ウ】

（2） 本時の展開

| 学習活動 | 時間 | ・指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法） |
|--|----|---|
| 1. 教師の作成した要約の例を2つ見せ、それぞれのよいところや直す必要があるところを全体で確認する。 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・問いと答えが整合していないものや、大事な文以外の余計な説明が入っているものを示す。 ・要約文の点検のポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 要約文の点検のポイント ①問いの答えになっているか ②つけたしたほうがよい言葉はないか ③けずるところはないか </div> |
| 2. 本時の学習課題をつかむ。 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認する。 |
| 自分で選んだ働く犬の説明を、要約のじゅつを使って書いてみよう。 | | |
| 3. グループで、選んだ言葉や文をつないでお話をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 同じ犬を選んだ人とグループになって、「要約おしゃべり練習」を始めましょう。 </div> | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が立てた問いに答えるように要約していくことが大切であることを確認する。 ・同じ犬を選んだ友達と、選んだ言葉や文を書き出した短冊を持ち寄り、それらをつないでお話（要約おしゃべり練習）をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> グループで対話（点検・アドバイス） </div> |
| 4. 要約文を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 自分の席に戻って、お話したことを思い出しながら、要約文を書いてみましょう。 </div> | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・問いと答えが整合しているかを点検し、うまくいっていないところは「こうしたらいいよ」と助言できるように声掛けをする。 ・問いと書き出した言葉や文が、きちんとつながっているかを確認しながら取り組むように声掛けをする。 |
| 5. グループごとに書いた要約文を読み合い、直しをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 近くの席の人とグループになって、書いた要約を読み合いましょう。分かりやすくなるように直しをしましょう。 </div> | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・近くの席の友達とグループになり、短冊と書いた要約文をもとに内容の点検をする。 ・分かりやすい要約になっているか点検しやすいように、点検ポイントをつけたワークシートを活用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> グループで対話（点検・アドバイス） </div> |

| | |
|--|--|
| <p>6. 全体で要約を紹介し合う。</p> <p>書いた要約文をみんなで見て、点検・アドバイスをしましょう。</p> <p>7. 振り返りをする。</p> <p>分かりやすく要約するためにどんな工夫をしましたか。</p> | <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 書いたものをもう一度読み返し、直しをする時間をとる。 ◇大事な言葉や文を落とさないように、立てた問いの答えの説明を要約して書いている。 <p style="text-align: right;">【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】 (リーフレット)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が書いた要約文の中で、アドバイスを受けて書き換えたものや、最後まで書けずに困っていたもの、分かりやすく書けていたものを紹介する。 <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の振り返りをする。 振り返りを書きやすくするために、どの術を使って要約したかということや友達と読み合っただけで分かったことを書いてもよいことを伝える。 |
|--|--|

(3) 本時の評価

| | 十分満足できると判断される児童の具体例 | おおむね満足できると判断される児童の具体例 | 支援を必要とする児童への指導の手だて |
|------|--|--|--|
| 読む能力 | <ul style="list-style-type: none"> 問いに合った大事な言葉や文を使って、書き換えたり補ったりして要約文を書いている。 | <ul style="list-style-type: none"> 問いに合った大事な言葉や文を使って、つなげて要約文を書いている。 | <ul style="list-style-type: none"> 要約を書くことに困っている児童に対しては、ヒントカードをわたす。 |

資料1 板書計画

〈黒板〉

十一月三十日
学習のめあて
自分で選んだ働く犬の説明を、要約のじゅつを使って書いてみよう。

予定

- めあてのかくにん
- 同じ犬を選んだ友達とおはなし
- 要約文を書く
- 近くの席の友達とてんけん・アドバイス
- ふりかえり

児童の要約文を映し出すスクリーンを貼る

友達からの
アドバイス

友達からの
アドバイス

余計な文章が入っている例文

↓問いの答えになっていないかかくにんする。

問いと答えの整合が合っていない例文

↓問いの答えになっていないかかくにんする。

↓けずるところはないかかくにんする。

↓つけたした方がよい言葉はないかかくにんする。